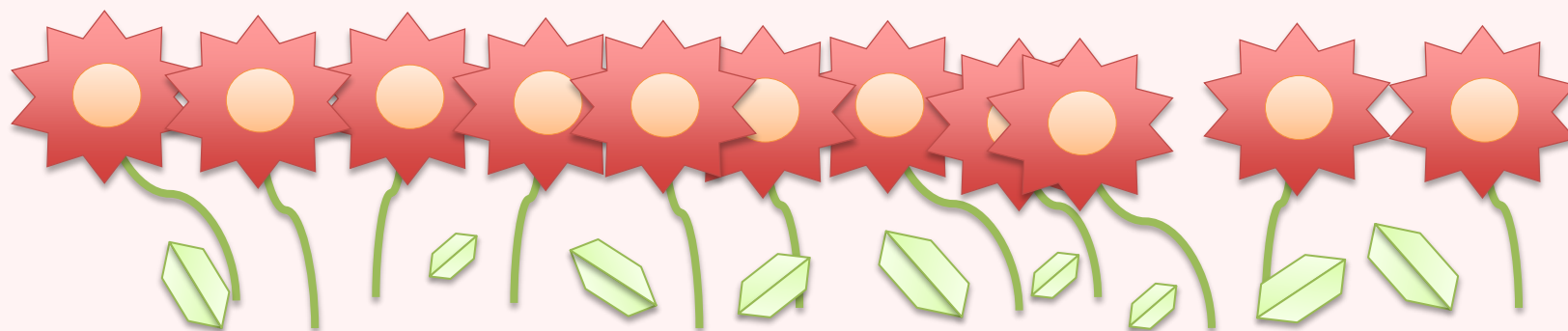
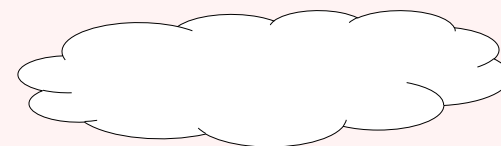


JAIRO Cloud 2015年 春モデル



OA Summit 2014

Session2 : JAIRO Cloudの新展開

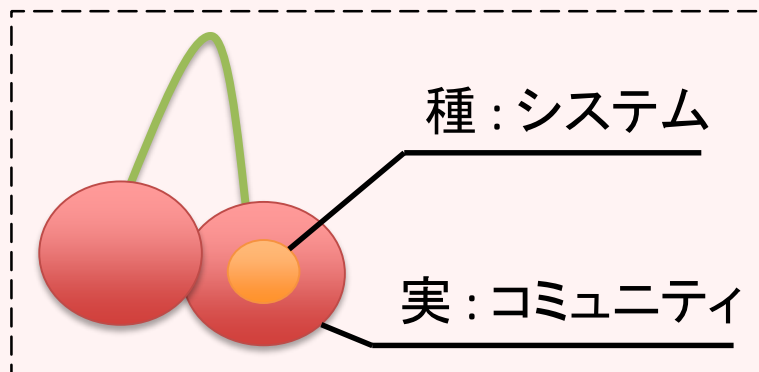


国立情報学研究所 学術基盤推進部 コンテンツシステム開発室
特任技術専門員 加藤 寛士

システムとコミュニティが複合した機関リポジトリの運用環境

JAIRO Cloudの概要

- JAIRO Cloudは2つの領域で機関リポジトリ運用を支援する
 1. システムの領域
 2. コミュニティの領域
- システムとコミュニティを包括した構造全体がJAIRO Cloud

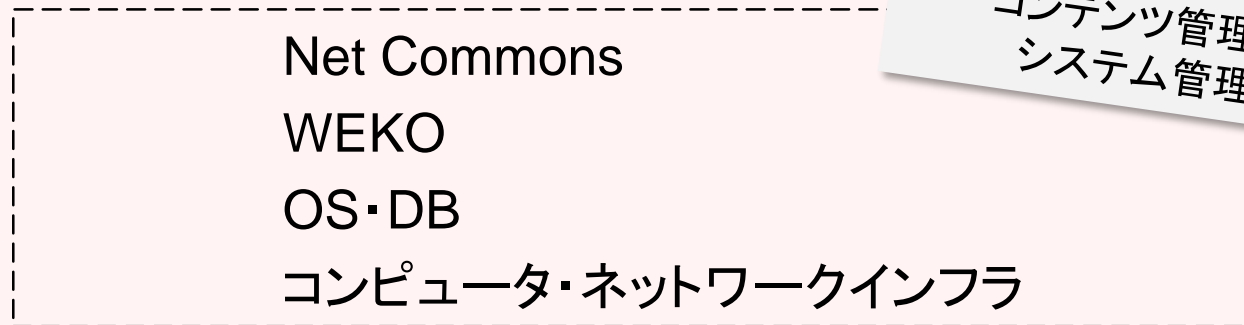


= JAIRO Cloud

システム領域：機関リポジトリ SaaS 「JAIRO Cloud」

JAIRO Cloud システム概要

- 構成



『役割分担』 = SaaSの意義
コンテンツ管理：機関
システム管理：NII

- 外部サービスへのデータ提供

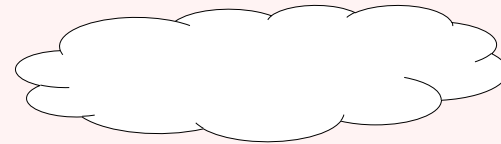
- OAI-PMH、junii2による外部サービスへのデータ提供
 - 例：JaLC DOI、デジタルデポジットシステム, CiNii, JAIRO ...
- 商用検索エンジンへのデータ提供 (クローラ向け最適化等)
 - 例：Google、Yahoo！ ...

システム領域：3年間着実な運用実績を積み上げてきた

JAIRO Cloud の開発・運用体制

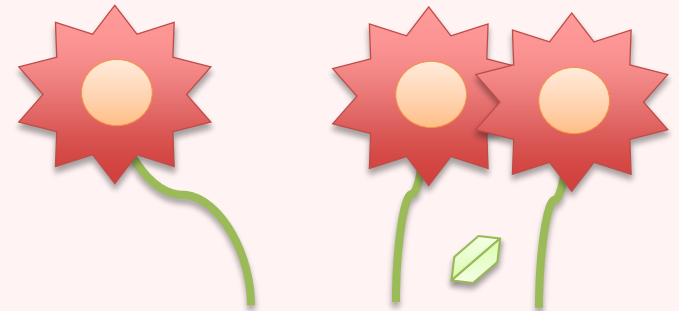
- 開発体制

1. 機関の担当者からの提言
2. NIIによる開発



- 運用体制

1. 機関の担当者からの提言
2. NIIによる運用



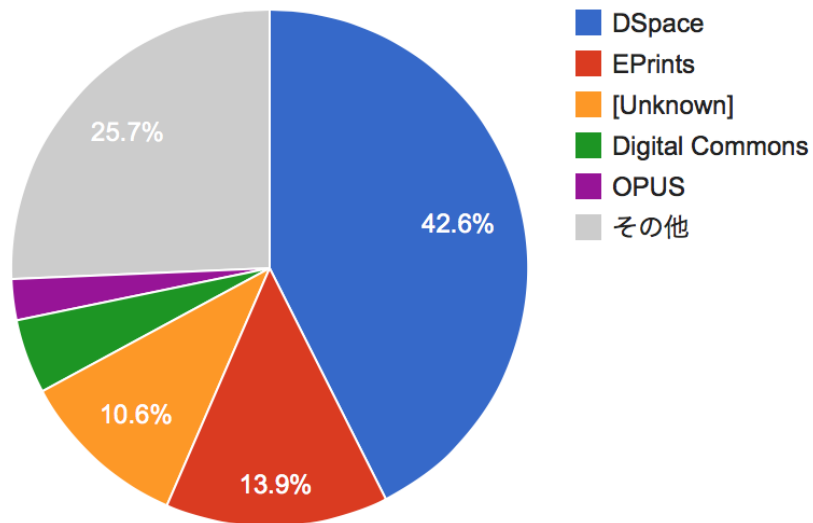
- 実績

- 228機関(10/2 現在)からの利用申請
- 2013年度のSPIRL功劳賞 (Commendations of Merit) を受賞
- 機関リポジトリのシステムとして世界的に見ても第3勢力!?

システム領域：機関リポジトリシステムの第3勢力 WEKO

OpenDOAR 集計値から見るWEKOの世界シェア

Usage of Open Access Repository Software - Worldwide



Total = 2727 repositories

OpenDOAR - 20-Oct-2014

DSpace : 1161

Eprints : 380

[Unknown] : 289

JAIRO Cloud : 228

2014/10/2 現在
利用準備中の機関含



出典

The Directory of Open Access
Repositories – *OpenDOAR*

www.opendoar.org

Usage of Open Access Repository Software

コミュニティ領域：相補的コミュニティにより発展するJAIRO Cloud

JAIRO Cloud にかかわる各領域のエキスパート

- 機関リポジトリ管理者

- 機関のブランディングのエキスパート
- 研究者・閲覧者とのコミュニケーションのエキスパート



- DRF・IR推進委員会

- 国内機関リポジトリのエキスパート
- 国内外の事情、コンテンツの取扱、技術に通じた有志



機関リポジトリ推進委員会

- NII

- 学術情報流通のエキスパート



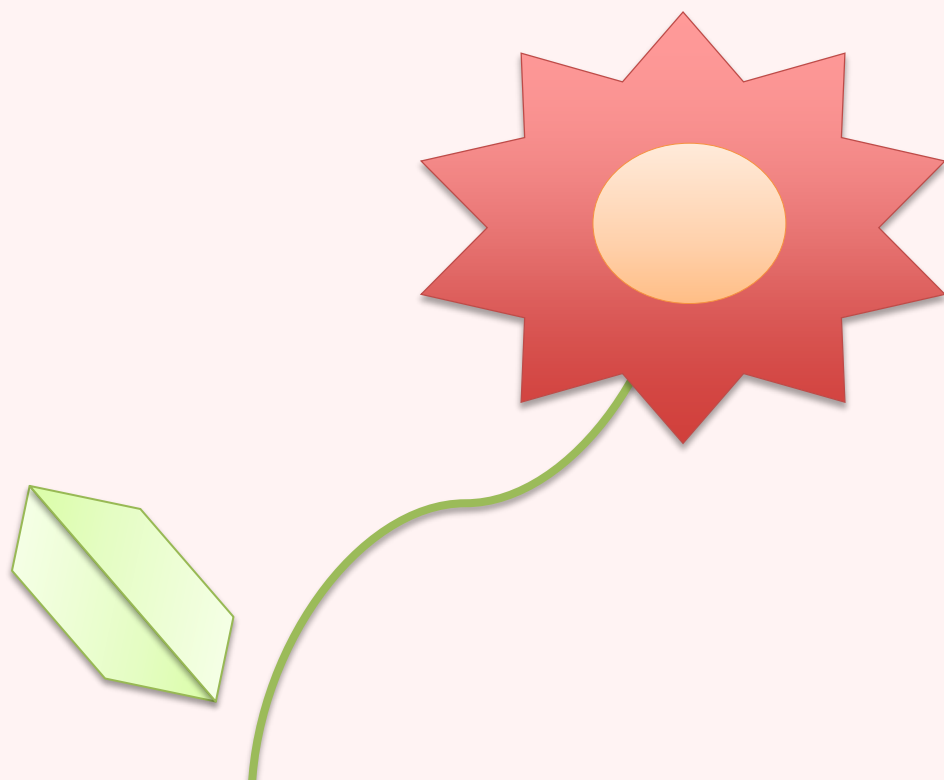
コミュニティ領域：ユーザビリティと先進性の両立

エキスパートの連携で進化するJAIRO Cloud

- **現場志向のユーザビリティ**
 - 機関リポジトリ管理者
機関、研究者、閲覧者の声をふまえた提言
 - NII
管理者の声をふまえて全体最適化
- **Global & Domestic Standard な先進性**
 - DRF・IR推進委員会
海外・国内の動向や長期的な視点からの提言
 - NII
システムの改良と他システムとのデータ連携



JAIRO Cloud 2015 春モデル

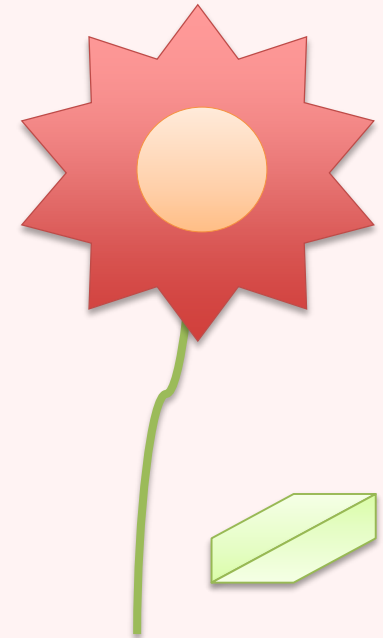


新機能概要説明

システム領域、コミュニティ領域の両面から変革を実施

JAIRO Cloud 2015年 春モデル に向けた変革の概要

- **システム領域の変革**
 - コンピュータ、ネットワークインフラの合理化
 - コミュニティの声をふまえたバージョンアップ
- **コミュニティ領域の変革**
 - JAIRO Cloudへのシステム移行の受け入れ
 - インキュベーション期からのステップアップ



システム領域変革：コンピュータ、ネットワークインフラの合理化

インフラのパブリッククラウドへの移行

JAIRO Cloudの持続性担保のために...

- インフラとして、利用の増大に対応する
 - 資金的、人的リソースがサービス開始当初のまま
 - これまでの運用実績による知見を活用した最適化へ
- メインリソースをパブリッククラウドに変更
 - スケジュール：2014.11 - 2014.12
 - 資金的、人的資源の再分配によりシステムの信頼性を強化
 - サービスへ影響を極小化したインフラ運用へ

システム領域変革：コミュニティの声をふまえたバージョンアップ

バージョンアップ項目の一覧

現場志向のユーザビリティ改善のために...

- 管理者を対象アンケートを行い、要望が多いものを中心に改修実施

閲覧

※ 数値はアンケート結果
における要望数の順位

ランキングタブの非表示機能 4

登録されて間もないアイテムの利用統計ガイダンス表示 8

アイテム詳細画面の公開状況非表示機能 9

PDFカバーページの付与タイミングをダウンロードの直前に変更

検索

詳細検索パラメータのデフォルト設定機能 7

詳細検索対象へのDublin Core項目の追加

アイテム管理

条件に合致するアイテムの一括削除機能 3

下位インデックスへの再帰的設定変更機能 5

インデックストツリーの構造コピー機能 6

CrossRef DOIによるメタデータの自動入力

ユーザの権限によって利用できるアイテムタイプを制限する機能

アイテム編集画面で任意の工程にジャンプする機能

アイテムタイプマッピング設定画面のタブ表示によるUI改善

一括ロードツール

自作アイテムタイプコピー機能

その他

アイテム詳細画面におけるGoogle Scholarクローラ向けメタタグ付与
検索されたキーワードのログ取得

2015 春 以降の改修を検討する項目

タイトルを利用したメタデータ補完入力 1

アイテム単位での変更記録ログの保持 2

コミュニティ領域変革：移行の受け入れ & 体制の改変

コミュニティの力を引き出す

JAIRO Cloudへのシステム移行受入

- 学術情報流通の基幹を担う機関が参加を検討
 - 旭川医大、山形大、信州大、千葉大、核融研で移行実験
 - 筑波大にてJAIRO Cloudでの本番運用
 - 11月4日JAIRO Cloudへの移行相談受付開始

運用体制の変革による、コミュニティの影響力強化

- JAIRO Cloudはインキュベーション時期を抜けつつある
 - NIIのサービスからコミュニティのサービスへステップアップ
 - 利用者による負担の分散モデル検討を開始

JAIRO Cloud 2015年 春 モデル まとめ

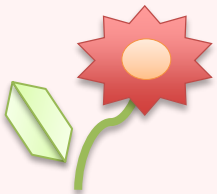
システム領域とコミュニティ領域の両面から改革を実施

システム領域：

インフラの合理化と新機能の追加

コミュニティ領域：

移行の受入とインキュベーション期からのステップアップ



お問い合わせ：国立情報学研究所 機関リポジトリ担当 ir@nii.ac.jp